

平成25年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年3月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 サンオータス
 コード番号 7623 URL <http://www.sunautas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年3月15日

(氏名) 北野 俊
 (氏名) 古川 晴男

TEL 045-473-1211

配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年4月期第3四半期の連結業績(平成24年5月1日～平成25年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第3四半期	27,565	7.9	118	256.8	133	302.1	61	—
24年4月期第3四半期	25,540	8.2	33	△86.0	33	△84.6	△55	—

(注) 包括利益 25年4月期第3四半期 67百万円 (—%) 24年4月期第3四半期 △61百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年4月期第3四半期	19.33	—
24年4月期第3四半期	△17.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年4月期第3四半期	13,728		3,600		26.2
24年4月期	14,175		3,563		25.1

(参考) 自己資本 25年4月期第3四半期 3,598百万円 24年4月期 3,562百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年4月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年4月期	—	0.00	—	—	—
25年4月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年4月期の連結業績予想(平成24年5月1日～平成25年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	0.6	350	116.2	300	68.5	180	283.5	56.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年4月期3Q	3,230,500 株	24年4月期	3,230,500 株
② 期末自己株式数	25年4月期3Q	49,370 株	24年4月期	49,370 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年4月期3Q	3,181,130 株	24年4月期3Q	3,181,130 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書 及び 四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や政府の経済政策・金融政策などを背景に緩やかな回復が見られるものの、欧州財政危機の長期化と中国をはじめとするアジア地域の成長鈍化から、世界経済の減速と景気を下振れするリスクが高まり、これまでの長期的な円高やデフレも懸念され、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループおきましては「ニュー・トータルカーサービス」の提供を通じて「顧客満足度の向上」に傾注し、集客力の強化によるビジネスチャンスの拡大を図るとともに、常にコストを意識した営業活動に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は27,565百万円（前年同四半期比2,024百万円増収、7.9%増加）、営業利益は118百万円（前年同四半期比85百万円増益、256.8%増加）、経常利益は133百万円（前年同四半期比100百万円増益、302.1%増加）を計上し、利益面は前年同四半期から大幅に改善しております。法人税等負担後の四半期純利益は61百万円（前年同四半期は55百万円の四半期純損失）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント間の取引については、相殺消去前の数値によって表示しております。

ガソリンを中心とした燃料油やカーケア商品の販売事業及び車検・整備事業を運営するライフエネルギー事業部門の売上高は13,630百万円（前年同四半期比2,285百万円増収、20.1%増加）、セグメント損失は13百万円（前年同四半期比57百万円増益）となりました。

SS（サービス・ステーション）では、エネルギー全般の節約志向の高まりや低燃費車の普及により燃料油の販売数量は減少しましたが、原油価格の上昇と年末からの円安により、仕入価格の変動分を転嫁した結果、売価は上昇しました。また、タイヤ・車検整備・洗車・コーティング等のカーケア商品に重点を置き、お客様のニーズにお応えするサービスの提供に努めました。一方、直販部門では大口需要家向け燃料油の増強、環境対策として手掛けている自動車エンジン清浄機器の販売数量の増加により、ライフエネルギー部門の売上高は前年同四半期を上回りました。しかし利益面においては、SS間の価格競争の激化と、収益改善の取り組みとしてスクラップ・アンド・ビルド（不採算店の閉鎖ならびに新規出店）を進めたことによる販売費及び一般管理費の負担増があり、前年同四半期から改善したものの、セグメント損失を計上することとなりました。

レンタカー事業、保険事業、中古車売買斡旋事業を運営するカーライフサポート事業部門の売上は1,009百万円（前年同四半期比52百万円減収、4.9%減少）、セグメント損失は4百万円（前年同四半期比13百万円減益）となりました。

当事業の中核であるレンタカー部門では、法人契約の獲得強化と個人顧客に対する短時間利用など、多様なメニューの提供により稼働率の向上に努めましたが、格安レンタカーの参入や法人取引先のコスト削減等が大きく影響し、売上高と利益は前年同四半期を下回りました。

また、保険事業においては、保険ビジネスの収益向上を図るため、ほけんの窓口グループ株式会社とフランチャイズ契約を締結し、平成25年1月より来店型保険ショップ『ほけんの窓口横浜鶴見店』『ほけんの窓口金沢八景店』を新規に出店いたしました。これによる人件費及び販管費の負担増もあり、カーライフサポート事業部門はセグメント損失となりましたが、将来に繋がる投資として生命保険の販売を積極的に行い、安定収益を確保してまいります。

輸入車正規ディーラーを運営するカービジネス事業部門の売上は12,795百万円（前年同四半期比178百万円減収、1.3%減少）、セグメント利益は170百万円（前年同四半期比66百万円増益、63.6%増加）となりました。

当第3四半期連結累計期間における国内の新車（登録車）販売台数は、エコカー補助金の終了を機に前年実績を下回るなど減少傾向ではありますが、輸入車（登録車）販売台数は236千台と前年同四半期実績（215千台）を上回り堅調に推移しました。輸入車正規ディーラー業務を運営する当社グループでは、BMW車の3シリーズを中心としたニューモデルの積極的な販売強化策の結果、新車売上高は減少したものの、新車販売台数は前年同四半期を上回り、また、中古車販売及び車検・整備の取扱いの増強策も寄与し、セグメント利益は大幅に改善しております。

なお、カービジネス事業部門では、国産車から新しい顧客層の開拓を強化するため、平成25年1月よりジャガー東名横浜店をプジョー車の正規ディーラー2店舗目となるプジョー相模原店へと転換を図り、BMW車・フォード車・プジョー車の3ブランドの正規ディーラー業務を運営することになりました。また、プジョー相模原店ではジャガーサービス指定工場契約を締結し、ジャガー車ユーザー様のメンテナンスフォローを継続して行うこととしました。

ビルメンテナンス事業及び不動産賃貸事業を行なう不動産関連事業部門の売上は338百万円（前年同四半期比3百万円減収、1.0%減少）、セグメント利益は73百万円（前年同四半期比5百万円減益、6.5%減少）となりました。

不動産関連事業部門は、安定した顧客を確保しており、引続き堅調に推移しました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、13,728百万円と前連結会計年度末に比べ446百万円減少しました。これは主として流動資産が270百万円減少したことによるものであります。負債合計は10,128百万円と前連結会計年度末に比べ483百万円減少しました。これは主として流動負債が574百万円減少したことによるものであります。純資産合計は当第3四半期連結累計期間の業績を反映し37百万円増加して3,600百万円となりました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は1.1ポイント増加して26.2%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、欧州財政危機の長期化やアジア地域の成長が鈍化するなど、世界の経済情勢や石油製品価格の動向は不透明であり、景気の先行きは厳しい状況が続くものと予想されません。

当第3四半期累計期間の業績は、利益面において当初予想との差異が生じましたが、好調に推移している輸入車販売の需要期を迎えることから、現段階では平成24年6月19日に公表いたしました連結業績予想から変更しておりません。なお、連結業績予想につきましては、本資料の発表日現在で入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年5月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく原価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,357,062	1,500,396
受取手形及び売掛金	2,204,206	1,908,890
商品及び製品	2,155,922	2,347,107
原材料及び貯蔵品	16,831	12,838
繰延税金資産	70,570	60,886
その他	965,283	663,695
貸倒引当金	△37,196	△31,954
流動資産合計	6,732,681	6,461,861
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,242,818	1,230,146
土地	3,890,088	3,890,088
リース資産（純額）	719,570	546,277
その他（純額）	418,968	450,012
有形固定資産合計	6,271,445	6,116,524
無形固定資産		
のれん	26,030	10,286
その他	20,261	20,275
無形固定資産合計	46,291	30,561
投資その他の資産		
差入保証金	727,608	697,458
繰延税金資産	22,806	23,220
その他	383,890	408,660
貸倒引当金	△9,407	△9,466
投資その他の資産合計	1,124,896	1,119,872
固定資産合計	7,442,633	7,266,958
資産合計	14,175,315	13,728,820
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,197,443	2,280,880
短期借入金	5,105,872	4,687,800
1年内返済予定の長期借入金	291,020	357,779
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
リース債務	363,482	307,833
未払法人税等	72,402	21,479
賞与引当金	106,272	51,867
その他	901,873	756,426
流動負債合計	9,068,366	8,494,066

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年1月31日)
固定負債		
社債	90,000	60,000
長期借入金	550,666	797,188
リース債務	400,761	272,950
繰延税金負債	13,890	16,034
退職給付引当金	368,821	370,268
役員退職慰労引当金	97,258	94,908
その他	22,242	22,690
固定負債合計	1,543,641	1,634,038
負債合計	10,612,007	10,128,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,250	411,250
資本剰余金	462,500	462,500
利益剰余金	2,703,752	2,733,439
自己株式	△27,174	△27,174
株主資本合計	3,550,328	3,580,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,964	18,379
その他の包括利益累計額合計	11,964	18,379
新株予約権	1,015	2,320
純資産合計	3,563,307	3,600,715
負債純資産合計	14,175,315	13,728,820

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成24年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)
売上高	25,540,896	27,565,056
売上原価	21,319,334	23,351,729
売上総利益	4,221,562	4,213,327
販売費及び一般管理費	4,188,288	4,094,601
営業利益	33,273	118,725
営業外収益		
受取利息	2,232	1,989
受取配当金	1,687	1,721
受取手数料	43,882	45,387
違約金収入	—	6,790
その他	21,166	15,059
営業外収益	68,969	70,948
営業外費用		
支払利息	65,052	50,953
その他	3,981	5,163
営業外費用合計	69,033	56,117
経常利益	33,209	133,557
特別利益		
固定資産売却益	1,049	—
特別利益合計	1,049	—
特別損失		
固定資産除却損	23,990	6,086
その他	25	393
特別損失合計	24,015	6,479
税金等調整前四半期純利益	10,243	127,077
法人税、住民税及び事業税	40,005	56,847
法人税等調整額	25,936	8,731
法人税等合計	65,941	65,579
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△55,697	61,497
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△55,697	61,497

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成24年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△55,697	61,497
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,810	6,415
その他の包括利益合計	△5,810	6,415
四半期包括利益	△61,508	67,913
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△61,508	67,913
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年5月1日 至平成24年1月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ライフエネ ルギー事業	カーライフ サポート事 業	カービジネ ス事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,236,991	1,030,457	12,961,267	312,179	25,540,896	—	25,540,896
セグメント間の内部売上 高又は振替高	108,453	31,497	12,630	29,716	182,298	△182,298	—
計	11,345,445	1,061,955	12,973,898	341,896	25,723,195	△182,298	25,540,896
セグメント利益又は損失(△)	△70,941	9,069	103,887	78,940	120,956	△87,683	33,273

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△87,683千円には、セグメント間取引消去93,024千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△180,707千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ライフエネ ルギー事業	カーライフ サポート事 業	カービジネ ス事業	不動産関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,504,069	977,743	12,771,530	311,713	27,565,056	—	27,565,056
セグメント間の内部売上 高又は振替高	126,863	31,321	23,979	26,749	208,914	△208,914	—
計	13,630,932	1,009,065	12,795,510	338,463	27,773,971	△208,914	27,565,056
セグメント利益又は損失(△)	△13,827	△4,347	170,036	73,799	225,661	△106,935	118,725

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△106,935千円には、セグメント間取引消去85,454千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△192,390千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。